

# 研究成果発表会

日時 平成30年7月6日(金)午後2:30～

会場 富山第一銀行9階 キラリホール

お申込方法 ハガキ、FAX、電話、E-mailで6月30日(土)までにお申込ください。  
なお、その後も随時お申込を受付いたします。

お申込お問い合わせ 富山第一銀行奨学財団事務局 〒930-0062 富山市西町5番1号  
TEL 076-422-2829 FAX 076-422-2891 E-mail:tomizai@micnet.ne.jp



入場料無料

TOYAMA  
キラリ

## A会場

- |             |  |
|-------------|--|
| 14:30～14:40 | 開会挨拶   |
| 14:40～15:00 | 天然のヒドリド試薬NAD補酵素を範とした新規CO <sub>2</sub> 光再資源化メカニズムの創出<br>富山大学大学院理工学研究部(理学) 准教授 大津 英揮 |
| 15:00～15:20 | 入善海洋深層水からの放線菌の分離と新規化合物の探索<br>富山県立大学工学部生物工学科 助教 春成 円十郎                              |
| 15:20～15:40 | 中山間地における空家解体方法と資材利用に関する研究<br>富山国際大学現代社会学部 教授 川本 聖一                                 |
| 15:40～15:50 | 休 憩  |
| 15:50～16:10 | 中小企業産学官技術連携の活性化に係る研究<br>富山高等専門学校国際ビジネス学科 准教授 清 剛治                                  |
| 16:10～16:30 | 児童の「話し言葉」語彙と「書き言葉」語彙の学年別発達の比較<br>—「話すこと」・「書くこと」連携指導の基礎的研究—<br>富山大学人間発達科学部 准教授 宮城 信 |
| 16:30～16:50 | 和漢薬による腸内細菌叢を介した代謝改善メカニズムの解明<br>富山大学附属病院 助教 藤坂 志帆                                   |



## 開催にあたり

公益財団法人 富山第一銀行奨学財団 理事長  
金岡 純二

当財団では昭和34年の財団設立以来行っている学生への奨学金の給貸与の他に、昭和59年から学術研究支援活動の支援を目的として、富山県内の高等教育機関へ研究助成活動を行っております。

当活動は、平成29年度までの34年間で、件数885件・金額3億8千万円となっております。そして今年度も、1,847万円を助成する計画です。

この度、平成29年度に研究助成を受けられた先生方の「研究成果発表会」を開催いたします。当発表会は、研究内容とその成果を企業の方や地域の皆様にご紹介するもので、今回で12回目の開催となります。

この発表会を契機として、産学官と金融機関の連携がますます深まっていくことを願ってやみません。

皆様のご来場を心からお待ちいたしております。

主催／公益財団法人 富山第一銀行奨学財団

共催／株式会社 富山第一銀行・富山大学  
富山県立大学・富山国際大学  
富山短期大学・富山高等専門学校

後援／富山県・富山市

公益財団法人 富山県新世紀産業機構

## C会場

- |             |   |
|-------------|---|
| 14:30～14:40 | 開会挨拶  |
| 14:40～15:00 | 金属ナノ粒子固定化と触媒活性評価についての研究<br>富山高等専門学校物質化学工学科 教授 津森 展子                         |
| 15:00～15:20 | 新規中枢シナプス形成調節薬の探索<br>富山大学大学院医学薬学研究所(医学) 准教授 吉田 知之                            |
| 15:20～15:40 | コンピューターシミュレーションで解き明かされる<br>水界面の分子科学<br>富山大学大学院理工学研究部(工学) 准教授 石山 達也          |
| 15:40～15:50 | 休 憩   |
| 15:50～16:10 | バス路線の定量評価のための最適化指向<br>マルチエージェントシミュレーション技法の開発<br>富山県立大学工学部電子・情報工学科 准教授 榊原 一紀 |
| 16:10～16:30 | 介護離職防止を目的としたケアマネジメント実践の検討<br>富山国際大学子ども育成学部 准教授 相山 馨                         |
| 16:30～16:50 | 富山湾産のホタルイカの価値向上に関する研究<br>富山短期大学食物栄養学科 教授 竹内 弘幸                              |



# 研究成果発表会プログラム・概要

## A会場

■ 発表者	■ 題目	■ 概要
富山大学大学院理工学研究部 (理学) 准教授 <b>大津 英揮</b>	天然のヒドリド試薬NAD補酵素を範とした新規CO <sub>2</sub> 光再資源化メカニズムの創出	光エネルギーを利用したCO <sub>2</sub> の触媒的新奇多電子還元反応を開発するため、天然のヒドリド試薬であるNAD補酵素におけるNAD <sup>+</sup> /NADH型有機ヒドリド生成能に着目し、光エネルギーを化学エネルギー（有機ヒドリド）として貯蔵可能な新規錯体分子の合成、分光学的・電気化学的性質や光反応特性の解明に取り組んだ。
富山県立大学工学部生物工学科 助教 <b>春成 円十郎</b>	入善海洋深層水からの放線菌の分離と新規化合物の探索	富山県は滑川と入善に海洋深層水の取水施設を有しており、その利活用への先導的役割を果たしてきた。しかし、研究活動は十分に行われておらず、特に微生物に関する報告は世界的にも非常に少ない。本研究では富山県の代表的産業である薬の「もと」になる化合物を海洋深層水由来の細菌から探索した。
富山国際大学現代社会学部 教授 <b>川本 聖一</b>	中山間地における空家解体方法と資材利用に関する研究	研究対象とした富山市八尾町桐谷地区は中山間地であり、富山県内においても空家率の増加が進んでいる。住民が最も困っている問題は、費用がかかるために空家が放置されていることである。本研究では、廉価におこなえる空家解体方法を提案した。解体工事費用は、通常の6分1程度まで削減できることが解った。
富山高等専門学校国際ビジネス学科 准教授 <b>清 剛治</b>	中小企業産学官技術連携の活性化に係る研究	本研究は、産学官技術連携活性化への方法論を示すものである。協働による「共有・共創→信頼の醸成」が生まれやすく、利害が先鋭化しにくい産学教育連携によって、地域社会ネットワークという形で産学官技術連携を下支えしておくことが、「技術開発～商品開発・事業確立・産業化」といった成果創出へ繋がることを示した。
富山大学人間発達科学部 准教授 <b>宮城 信</b>	児童の「話し言葉」語彙と「書き言葉」語彙の学年別発達比較 ー「話すこと」「書くこと」連携指導の基礎的研究ー	本研究は堀川小学校との協働実践研究である。「くらしの時間」を6学年、1年間記録し、電子化した。併せて同児童らの作文資料も同様に電子化し、分析・比較を行った。語彙表を作成し検討したところ、使用される品詞・語彙の学年別発達に差異が見られ、話し言葉と書き言葉の発達段階が一致しないことが実証的に確認された。
富山大学附属病院 助教 <b>藤坂 志帆</b>	和漢薬による腸内細菌叢を介した代謝改善メカニズムの解明	肥満では腸内フローラの乱れから腸管のバリア機能が低下し糖代謝異常が起こりやすくなることが知られる。本研究では、従来肥満の治療に用いられてきた漢方薬、防風通聖散が腸内フローラを変化させ、バリア機能を回復させて糖代謝を改善することを見出した。漢方薬による腸内環境への介入という新しい概念である。

## C会場

■ 発表者	■ 題目	■ 概要
富山高等専門学校物質化学工学科 教授 <b>津森 展子</b>	金属ナノ粒子固定化と触媒活性評価についての研究	次世代エネルギーとして期待されている燃料電池の水素源として、安全で貯蔵・運搬の容易な硝酸アンモニウムなどの高水素含有化合物からの水素供給が提唱されている。今回はこれら高水素含有化合物から、高効率に水素を発生させる新しい不均一触媒の調製方法を開発したので報告する。
富山大学大学院医学薬学研究所 (医学) 准教授 <b>吉田 知之</b>	新規中枢シナプス形成調節薬の探索	中枢シナプス形成の調節過程は神経発達障害や精神疾患の治療を目的とした創薬標的として注目されている。本研究ではシナプスオーガナイザータンパクを付加したビーズと神経細胞の間の人工シナプス誘導系を用いて、シナプス形成を定量的に評価し、薬物スクリーニングに応用可能な実験系を構築したので、これを報告する。
富山大学大学院理工学研究部 (工学) 准教授 <b>石山 達也</b>	コンピューターシミュレーションで解き明かされる水界面の分子科学	水は地球上で最もありふれた物質のひとつであり、これまで多くの研究が成されてきたにもかかわらず、水が地球環境や生体を与える影響はまだわかっていないことも多い。今回、最先端の分子シミュレーション手法を駆使して明らかになってきた水の研究成果を、分子科学的な視点から紹介させていただく。
富山県立大学工学部電子・情報工学科 准教授 <b>榎原 一紀</b>	バス路線の定量評価のための最適化指向マルチエージェントシミュレーション技法の開発	都市交通を、マルチエージェント型シミュレーション技法により評価する技法を開発した。これにより、徒歩や自動車、バス、鉄道などの多様な交通方式が表現可能となり、さらには住人一人ひとりの交通行動を陽に表現することが可能となった。この技法に基づき、都市内の交通インフラの定量評価を行う事例を示す。
富山国際大学子ども育成学部 准教授 <b>相山 馨</b>	介護離職防止を目的としたケアマネジメント実践の検討	近年、要介護認定者の増加による40代、50代の介護離職が社会問題となっている。介護者は介護離職によって社会的に孤立し、経済的負担とともに大きな精神的負担を抱える。本研究では、介護者の生活全体を捉え、抱えているリスクやニーズに専門職が的確に対応し、介護者の介護離職を防止するケアマネジメント手法について検討した。
富山短期大学 食物栄養学科 教授 <b>竹内 弘幸</b>	富山湾産のホタルイカの価値向上に関する研究	富山湾産のホタルイカは、全国的に有名であるが、他の地域でも水揚げされている。これまで我々は、ホタルイカの健康機能について検討を行い、脂肪肝の予防作用がある可能性を示唆してきた。本研究では、富山湾産ホタルイカについて、県外産との風味的および成分的な比較を試みたので、その得られた成果を報告する。

## 富山第一銀行奨学財団研究助成セミナー 研究成果発表会

申込書 FAX:076-422-2891

6月30日(土)までにお申込ください。なお、その後も随時お申込を受付いたします。

会社名			
住所	〒	—	
	TEL	( )	FAX ( )
所属部署		役職	
参加者氏名			

\*記載いただいた「氏名」「住所」「電話番号」等の個人情報は、今回の発表会の運営のみに使用し、それ以外の目的には使用いたしません。